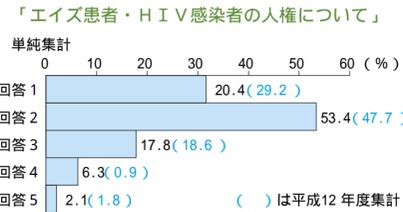


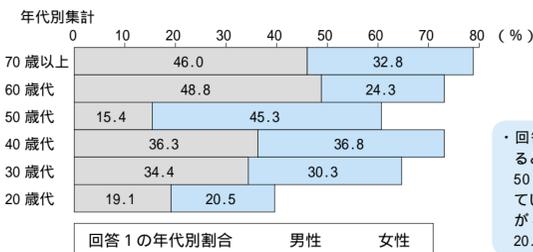
【質問9】 エイズ患者・HIV感染者に対する差別をなくす取り組みが進められつつあります。あなたの身近に感染者等がいた場合、あなたはどうしますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 病気で苦しむ人に対する当たり前の気持ちとして、支援できることがあれば支援したい。
2. 教育・啓発によって感染症についての正しい知識を広めるべきである。
3. 身近な問題として直面した時に考えたい。
4. 自分に感染しないかと気がかりで、あまり関わりたくない。
5. わからない

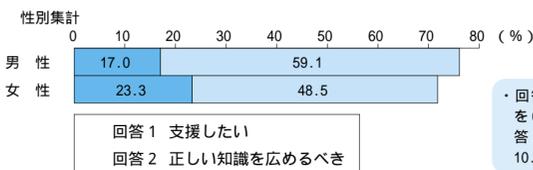


( ) は平成12年度集計  
平成12年度無回答1.8%

・平成12年度と比較すると、回答2の割合が5.7%増加しています。回答4の割合は、5.4%増加しています。回答1の割合は、8.8%減少しています。



・回答1の割合を男性で見ると、60歳代が48.8%と高く、50歳代が15.4%と低くなっています。女性では、50歳代が45.3%と高く、20歳代が20.5%と低くなっています。



・回答1の割合は、女性が男性を6.3%上回っていますが、回答2については男性が女性を10.6%上回っています。

【質問10】 刑を終えて出所した人たちが社会に復帰する「更正保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更正保護」活動をしませんかと呼びかけられたら、あなたはどうしますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 更正保護活動は大切な仕事であり、そういう仕事を自分もしたいと思う。
2. 更正保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない。
3. 犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない。
4. 刑を終えた人とはいえ、こだわりをもつので何もしたくない。
5. わからない



( ) は平成12年度集計

・平成12年度と比較すると、回答2の割合が3.5%、回答4の割合が4.0%増加しています。回答1の割合は、5.0%、回答3の割合は、4.0%減少しています。

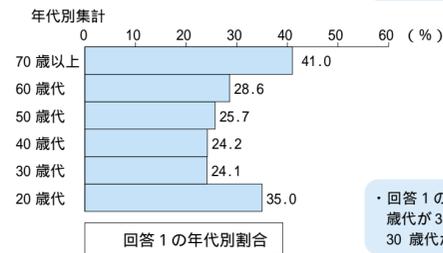
【質問11】 人権を守る事の大切なこととして「他人への思いやりをもつ」という意見がありますが、あなたは人とのふれあいの中で、「思いやりのある言葉や行いが多くなってきた」と感じていますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. そう思う。
2. そう思わない。
3. わからない。



( ) は平成12年度集計

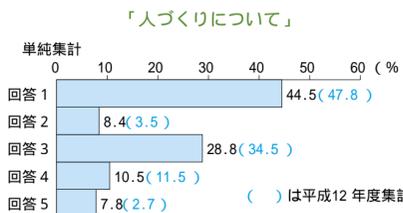
・平成12年度と比較すると、回答1の割合が13.0%増加しています。回答2の割合は、12.0%減少しています。



・回答1の割合は、70歳以上が41.0%と高く、20歳代が35.0%、60歳代が28.6%と続いています。30歳代が24.1%と低くなっています。

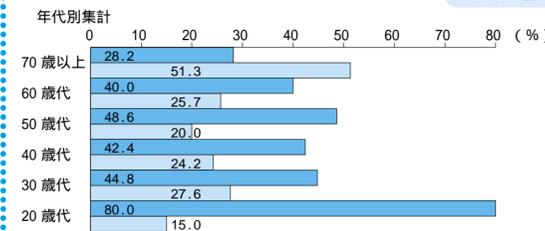
【質問12】 可児市では、現在、『心豊かな活力とうるおいのある住みよい都市(まち)』をめざして行政が進められていますが、あなたは、市民の一人として、『人づくり』にどんなことが大切だと思われますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 家庭教育の充実
2. 学校教育の充実
3. ぬくもりの感じられる隣人付き合い
4. 一人一人の人権意識の高揚
5. 人権教育の啓発



( ) は平成12年度集計

・平成12年度と比較すると、回答2の割合が4.9%、回答5の割合が5.1%増加しています。回答1の割合は、3.3%、回答3の割合は、5.7%減少しています。



・回答1の割合は、20歳代が80.0%と高くなっています。70歳以上が28.2%と低くなっています。回答3の場合は、70歳以上が51.3%と高く、20歳代が15.0%と低くなっています。

# 可児市民の人権意識調査

平成14年8月集計



人権教育の研修に励む先生たち(西可児中学校)

## 可児市人権啓発センター

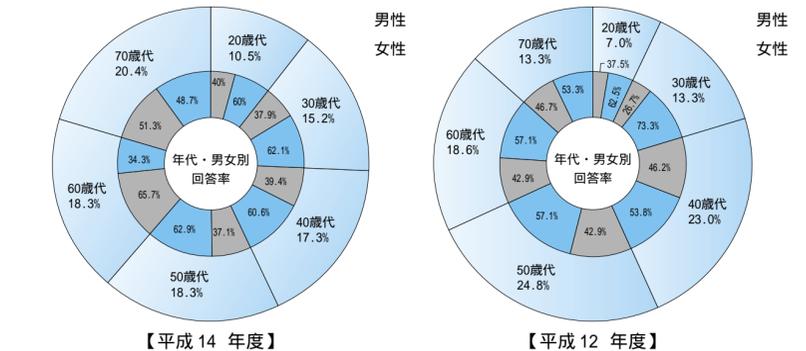
可児市下恵土5166 1  
可児市総合会館分室内  
電話・FAX 0574 63 7990  
E-mail jinken01@ma.ck.ne.jp

平成14年8月実施の可児市民の人権意識調査集計結果

## 市民の人権意識は？

可児市人権啓発センターでは、平成3年の開設以来、約2年ごとに「市民の人権意識調査」を実施してきました。この調査の目的は、市民の皆さんの人権意識の実態を把握し、問題点があれば、その解決のための啓発活動を進めていくためです。今回の設問は、平成12年度と比較できるようにするため、同様の設問としました。

	【平成14年度】		【平成12年度】		
調査の時期	平成14年8月15日～30日		平成12年8月14日～31日		
調査の方法	無作為抽出法(市民500名)		無作為抽出法(市民350名)		
対象の属性 (20歳以上)	男性	250名	男性	182名	
	女性	250名	女性	168名	
回答者数	男性	88名	男性	47名	
	女性	103名	女性	66名	
回答率	男性	35.2%	38.2%	男性	25.8%
	女性	41.2%		女性	39.3%
					32.3%



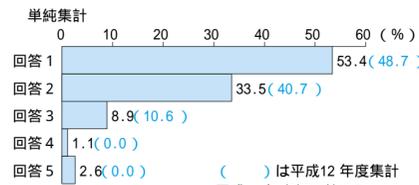
【調査概要についての考察】

1. 平成14年度の回答率についてみると、20歳代・30歳代が平成12年度の同年代に比較して、5.4%と増加していますが、反面40歳代・50歳代が12.2%と大きく減少しています。
2. 「人権意識調査」は無作為抽出法で実施し、男性・女性各250名を対象としましたが回答率で見ると、平成12年度同様女性の方が高くなっています。平成14年度の全体の回答率は、平成12年度より5.9%上昇し、人権についての関心が高まってきていると考えます。

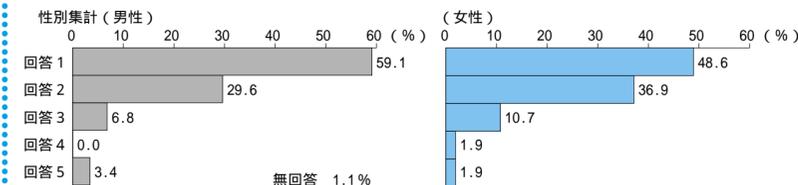
【質問1】 家庭や地域、あるいは職場において、「女のくせに」といわれたり、「女性だから」ということで男性に比べて不利な扱いを受けたりする場合があります。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 女性だからといって差別するようなことは、ぜひともなくすべきである。
2. 女性差別はよくないが、少しずつ改善していけばよい。
3. 女性が男性よりいくらか不利な扱いを受けるのは、やむをえない。
4. 世の中が男性中心に動いているので、女性が不利な扱いを受けるのは当然である。
5. わからない。

### 「女性の人権について」



・平成12年度と比較すると、回答1の割合が4.7%増加しています。回答2の割合は、7.2%減少しています。

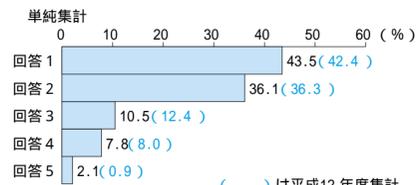


・男性女性とも、回答1の割合がそれぞれ59.1%、48.6%と高いことがわかります。

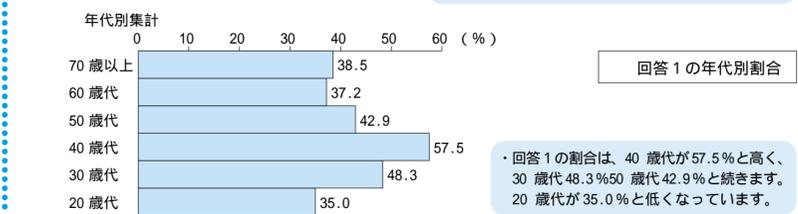
【質問2】 子どもたち同士の「いじめ」によって「仲間はずれ」にされたり、時には「自殺」にまで追いやられたりする事例が起きています。「いじめ」について、あなたは、どう考えますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 「いじめ」は、人間として恥ずかしい行為であり、許されない。
2. 「いじめ」は人の心やからだを傷つける行為であり、やめたほうがよい。
3. ひどい「いじめ」はよくないが、ささいなことなら気にしないほうがよい。
4. 「いじめ」を受けると子にも原因がある。
5. わからない。

### 「子どもの人権について」



・平成12年度と比較すると、回答1の割合が1.1%増加しています。回答3の割合が1.9%減少しています。

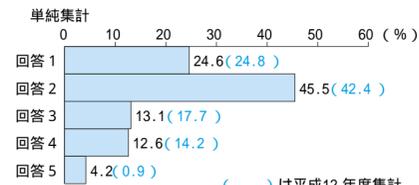


・回答1の割合は、40歳代が57.5%と高く、30歳代48.3%50歳代42.9%と続きます。20歳代が35.0%と低くなっています。

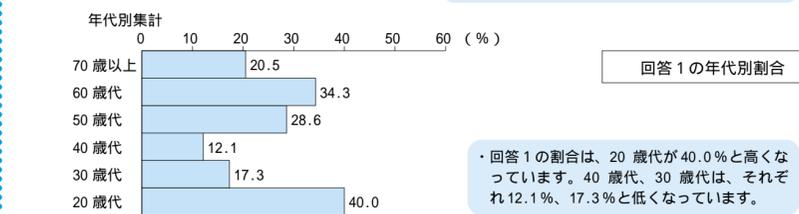
【質問3】 かりに、あなたの近所の家族で、高齢者があまり大切にされていないことを聞いた場合あなたはどう考えますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 高齢化による病気や何らかの障害などを理由に高齢者を大切にしないのは、人間として許されない。
2. 高齢者は人生の先輩として尊重されるべきである。
3. 状況によっては、ある程度は迷惑がられてもやむをえない。
4. 高齢者の方に原因があればかたがたない。
5. わからない。

### 「高齢者の人権について」



・平成12年度と比較すると、回答2の割合が3.1%、回答5の割合が3.3%増加しています。回答3の割合が4.6%減少しています。

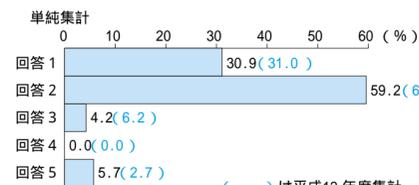


・回答1の割合は、20歳代が40.0%と高くなっています。40歳代、30歳代は、それぞれ12.1%、17.3%と低くなっています。

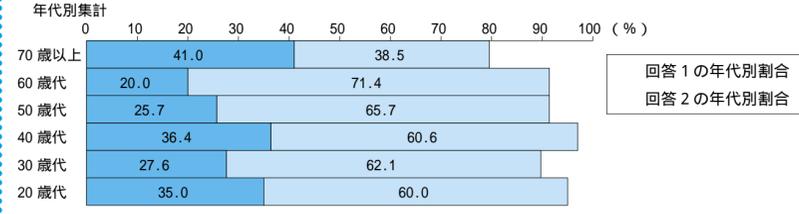
【質問4】 かりにあなたの近所に障害者を支援する施設が設置されることになった場合、あなたは、どう考えますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 何もさしつかえなく、交流・支援活動に進んで協力したい。
2. 施設の設置について十分説明があれば、地域で相談して受け入れる。
3. 施設は必要であると思うが、できれば自分の近くにないほうがよい。
4. 近所に施設が設置される場合には、強く反対する。
5. わからない。

### 「障害者の人権について」



・平成12年度と比較すると、回答1が0.1%、回答2が0.9%減少しています。回答5の割合が、3.0%と増加しています。



・回答1の割合は、70歳以上が高く41.0%となっています。回答1、2を合わせた割合は、40歳代が97.0%と高く、70歳以上が79.5%と低くなっています。

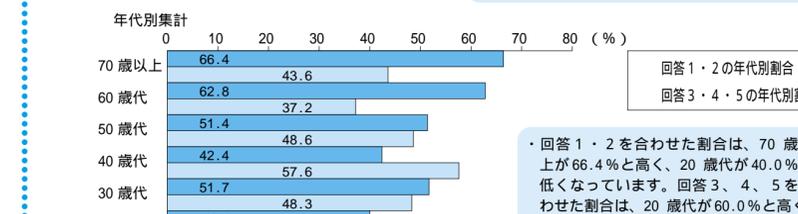
【質問5】 かりに、あなたの身近な人が「同和問題」について差別的な発言をした場合、あなたはどうしますか。あなたのお考えに近いものを、一つだけ選んでください。

1. 自分で差別的な間違いを説明する。
2. 「同和問題」について良く知っている人の助けを借りて、差別的な間違いを説明する。
3. 説明する自信がないので、そのまましておく。
4. 自分には関係がないことだから、そのままにしておく。
5. わからない。

### 「同和問題（差別発言）について」



・平成12年度と比較すると、回答1の割合が7.0%、回答3の割合が7.5%減少しています。回答5の割合は、6.3%増加しています。

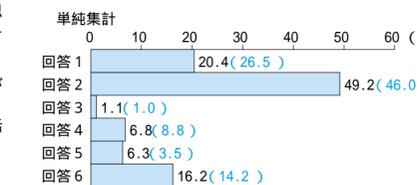


・回答1・2を合わせた割合は、70歳以上が66.4%と高く、20歳代が40.0%と低くなっています。回答3、4、5を合わせた割合は、20歳代が60.0%と高く、60歳代が37.2%と低くなっています。

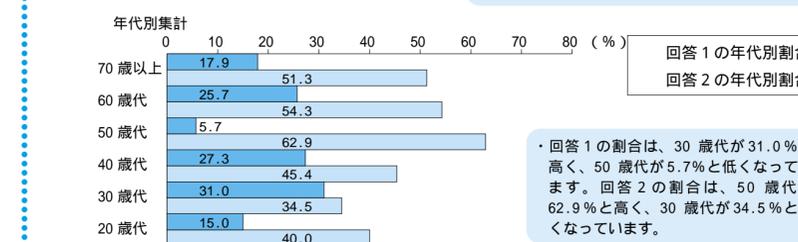
【質問6】 あなたは、「同和問題」を解決するためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを、一つだけ選んでください。

1. 市民一人一人が解決のために努力する必要がある。
2. 国・県・市などの行政が、同和教育・啓発活動をねばり強く行う必要がある。
3. 同和地区の人たちが努力すればよい。
4. そっとしておけばよい。
5. 同和地区の人たちがばらばらに住めばよい。
6. わからない。

### 「同和問題の解決について」



・平成12年度と比較すると、回答2の割合が3.2%、回答5の割合が2.8%増加しています。回答1の割合は、6.1%減少しています。

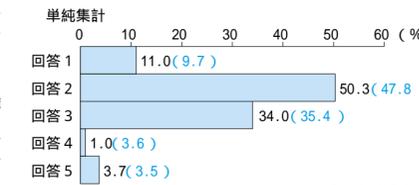


・回答1の割合は、30歳代が31.0%と高く、50歳代が5.7%と低くなっています。回答2の割合は、50歳代が62.9%と高く、30歳代が34.5%と低くなっています。

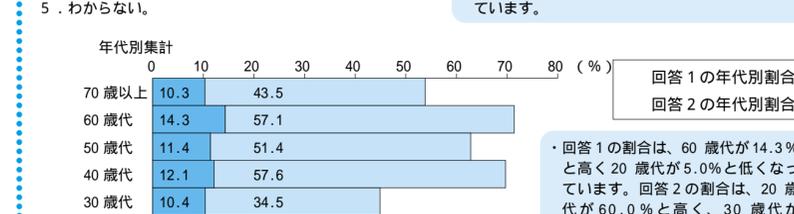
【質問7】 アイヌの人々の文化を保護し、人権を尊重する法律がつけられましたが、あなたは、どう考えますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 「日本は単一民族」と考えるのはアイヌの人々を無視した見方であり、アイヌの人々の人権を守ることが必要である。
2. 少数民族として差別されてきた歴史について知り、アイヌの人々の文化を大切に保存していく必要がある。
3. アイヌの人々と身近に接したことがなく、あまり考えたことがない。
4. 法律まで定めてアイヌの人々を支援するのは、理解出来ない。
5. わからない。

### 「アイヌの人々の人権について」



・平成12年度と比較すると、回答1の割合が1.3%、回答2の割合が2.5%増加しています。回答3の割合は、1.4%、回答4の割合は、2.6%減少しています。

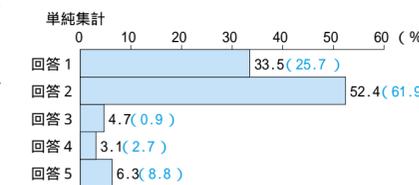


・回答1の割合は、60歳代が14.3%と高く20歳代が5.0%と低くなっています。回答2の割合は、20歳代が60.0%と高く、30歳代が34.5%と低くなっています。

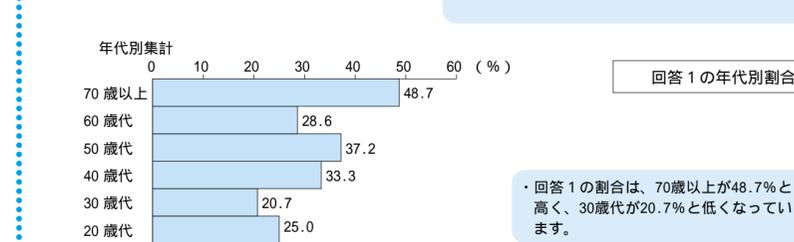
【質問8】 かりに、あなたの近所のアパートに外国人が住むことになった場合、あなたは、どう考えますか。あなたのお考えに近いものを一つだけ選んでください。

1. 文化の違いに理解を持ち、同じ人間として分けへだてなくつきあいたい。
2. その人個人を見きわめてからつきあいたい。
3. どの国（民族）の人かによって、場合によってはつきあいを避けたい。
4. つきあいを避けたい。
5. わからない。

### 「外国人の人権について」



・平成12年度と比較すると、回答1の割合が7.8%増加しています。回答3の割合も3.8%増加しています。回答2の割合は9.5%減少しています。



・回答1の割合は、70歳以上が48.7%と高く、30歳代が20.7%と低くなっています。